

社会福祉法人 京都光彩の会

光彩だより 令和7年1月号

今月のもくじ

2024年の振り返り

朱雀工房

なごやかサロン

西山高原工作所

グループホーム賀陽・山ノ内・光

法人WEBサイトリニューアル

後援会のお礼

「心にアース線を」
巻頭言

私たちちは、心にさまざまな「しこり」、「こだわり」、「傷」、「受け入れられないもの」を抱えて生きています。それを相手に投げかけて人間関係をつづっています。なかでも乳幼児期に形成された感情パターンを相手に移すことを感情転移と言い、それに反応し返すことを逆転移と言います。

対人援助の専門職が特に心掛けねばならないことは、力を誇示して支配しようとしてくる相手に「力比べ」を仕掛けないこと、ネガティブな感情で接してくる人に「感情の対抗」を抑制できるこです。この自覚と制御が、難しいのです。

哲学者の鷺田清一が、ある精神科医の説として推奨しているのは、心に「アース線」を持つことです。雷が落ちたときに、洗濯機にアース線が付いていると、雷電は地面に逃げていきます。それと同じ原理です。相手に雷を落とし返すではなく、大地に逃がすのです。では大地は、何に当るのでしょうか。それは、人それに、慈愛に満ちた祖母の笑顔であったり、罪を贖う十字架上のイエスであったり、全生命を救う阿弥陀仏の願いであります。それらの感情は、人間に心をもつて、ポジティブな表現力で利用者や職員間でも、ネガティブな感情表明は、周囲にネガティブな感情しか生みだしません。心にアース線をもつて、ポジティブな表現力で利用者や職員相互と接したいのです。

地域交流



ミレニアムライオンズクラブ 高瀬川清掃活動報告

10月13日、今年もミレニアム・ライオンズクラブの桂川清掃活動に参加させて頂きました。嵐山公園中之島地区を中心に清掃作業に取り組んだあと、バーベキューでの食事を楽しむことができました。ライオンズクラブの皆様の細やかなお心遣いに深謝致します。

2024年の振り返り

朱雀工房



京都市朱雀工房卒業生 和田悠花さんにイ
ンタビュー（社会福祉法人 浩照会 特別養護
老人ホームあじさい苑 介護補助員）

ー朱雀工房では、所内での様々な作業のほか、施設外での活動や地域イベントへの出店にも参加して下さいました。印象に残っていることを教えてください。

和田さんー西新道錦会商店街での配食事業（※二〇二四年三月終了）です。最初はお客様に届ける道順を覚えるのが大変でしたが、目印を見つけて覚えられました。お弁当に添える味噌汁を秤で計つて重さを揃える。お客様からのお金の取り取りを、「千円を出されたらおつりはいくら？」と確認するなど、まず、職員さんと配達の準備をしました。それから、味噌汁を運ぶ人と二人でペアになって、お弁当を運びました。最初はできるかなあと不安があったのですが、職員さんが見守つてくださり安心してできるようになりました。こぼさずにお玉でお味噌汁をお椀に入れたり、お客様からお札を頂けるようになりました。

ー和田さんは二〇二二年十月、朱雀工房の事業所説明会に参加され、体験利用を経て通所されることになり、利用開始からちょうど一年で就職されました。説明会に参加して下さった動機を聞かせてください。

和田さんー京都大学医学部附属病院のデイケアに週三回通い、茶話会でいろいろな人と話したり、リースやコースターをつくったり、音楽を楽しんだりしていたのですが、「もう一度働きたい」「支援学校を卒業してからずっと同じ仕事を（総合病院で検査検体を別棟に運ぶ仕事）をしてきた。（他に）自分にできる仕事、合った仕事がないかな」と考えるようになり、その頃、週に一回お世話になっていた訪問看護師の方に朱雀工房を紹介して頂き、体験利用し、母や看護師さんと一緒に考えて、最終的には自分で判断して通所を決めました。

和田さんー朱雀工房を利用し始めてからも、「どんな仕事ができるかのか」「どんな仕事が自分に合っているのかわからぬ」という思いが続いていました。

た。はあとふるアイリスの所長さんと一緒にいましたが、自分で電話予約して利用するようになりました。そして、高齢者の方の事業所で配食や配膳の仕事ならできるのではないかと考えるようになりました。

ー上京区のデイサービスセンターで一週間体験実習されましたね。

和田さんー利用者の方と一緒にボール送りなどのレクリエーションを楽しんだり、配茶・配膳、見守りなどを体験しました。利用者の方の笑顔が明るく、職員の方にも大変よくして頂きました。実習の振り返りをしたときに、職員の方から「送りの準備などで職員が忙しくしているときに、和田さんが認知症を抱える利用者さんの傍で話を聴いてくれていた」と言って頂き、利用者の方から「また、来てね」と声を掛けて頂きました。

ーそれからハローワーク伏見で紹介頂いた社会福祉法人浩照会の特別養護老人ホームと介護老人保健施設を見学させて頂き、両方で体験実習されましたね。

和田さんー特養と老健では、職員さん

の利用者さんへの接し方が違つていて、
穏やかな特養の方が自分に合つていると
思い、特養に応募させて頂くことを自分
で決めて採用頂くことができました。

「あじさい苑ではどんなお仕事をしてお
られますか?また、今後の抱負を教えてお
ください。

和田さん一ふたつのユニットで、ゴミ
出し、居室のお掃除、リネン庫のおむつ
の補充、昼食の配膳、洗濯物の整理と居
室へのお届け、さらに最近はシーツ交換
にも取り組み、ひとりでできるようにな
りました。こうしたお仕事のほか、毎月
の喫茶レクレーションでは、ユニットの
ある四階から一階まで、職員の方に見
守つて頂きながら車いすでの移動を手
伝つたり、歌詞カードを見て頂きながら
利用者さんと一緒に歌を歌つたりしま
す。いつも担当しているユニットとは違
うユニットの利用者さんから、「話を聴
いてもらつて有難う」と言つて頂くこ
ともありました。今年はじめて、敬老の
日のお祭りにも参加させて頂くことがで
きました。働き始めた頃は、一日にひと
つのユニットの作業を担当したのですが、「何時にはこの作業を」という仕事
の流れがわかつてきて、今は一日にふた
つのユニットの仕事をこなせるようにな
りました。職員の方から、「和田さん
は、ちゃんとあいさつができるところが
よいと思います」との言葉を頂いたとき

はとてもうれしかつたです。

これから先もあじさい苑でお仕事を続け
て、利用者さんとかかわり、利用者さん
に困ったことがあつたら職員さんにすぐ
に伝えて、職員さんと共有しながら頑
張つていきたい。少しでも利用者さんに
楽しく、気持ちよく過ごしてもらいたい
です。



「最後に、一般就労をめざしている方に
アドバイスをお願いします。

和田さん一最初は不安とか、ドキドキ
することがあると思いますが、だんだん
慣れてきたら仕事のやりがいとか楽しい
ことが増えていくと思うので、体験実習
とかも頑張つてやるといいと思います。
それから、職場でつらいことや大変なこ
とがあったときに、相談して一緒に考え
てもらえる職場に出会えるといいと思いま
す。以前の職場では相談できる方がい
ませんでした。今の職場では、「何か
あつたら僕に直接言つてくれたら」と声
を掛けて下さる方もいてください、すぐ
に相談できるのが有難いです。

な や か サ ロ ン



合唱団グラアスお疲れ様会

今後は、年一回程度の頻
度となりますが、集まつた
人たちで歌を歌う機会をつ
くることとなりました。興
味のある方は、サロンの行
事予定をチェックしてお
いてくださいね。

なごやかサロンが開所
された当初(一九九七年
頃)から合唱団グラアス
の活動を続けてきました
が、新型コロナウイルス
感染拡大をきっかけに活
動を休止することとなり
り、団員の減少等の事情
も重なったため、令和六
年度を持って一旦活動に
区切りをつけることとな
りました。九月二十一日
に行つた会では、講師の
先生や団員、ボランティ
アの方々と想い出話に花を
咲かせたり、馴染みの曲を
合唱したりして楽しい時間
をもつことができました。

なごやかサロンが開所
された当初(一九九七年
頃)から合唱団グラアス
の活動を続けてきました
が、新型コロナウイルス
感染拡大をきっかけに活
動を休止することとな
り、団員の減少等の事情
も重なったため、令和六
年度を持って一旦活動に
区切りをつけることとな
りました。九月二十一日
に行つた会では、講師の
先生や団員、ボランティ
アの方々と想い出話に花を
咲かせたり、馴染みの曲を
合唱したりして楽しい時間
をもつことができました。

西山高原工作所

統合してからの様子

二〇二四年十月より西山高原工作所はかれん工房と統合し、新事業所（名称は未定）となりました。思えば六月にかれん工房の方と親睦会で職員利用者が顔合わせをしてから、あつという間に十月になりました。九月下旬から荷物の搬入をし、荷物整理も仮置き状態で新事業所がスタート。初日はみんなの顔に「緊張しますよ」の札が貼つてあり（笑）、どこか西山とかれんの間に目に見えないバリアみたいなものがありました…。

そんな中、職員はお互いが早く馴染める様に積極的に挨拶を行ったり、利用者さん同士の仲介人としてコミュニケーションが円滑に行えるように声掛けをしております。時間が過ぎるのは早いもので二週間がまるで昨日の出来事の様に感じます。今、利用者さんの様子はどうなっているかというとチラホラ西山とかれんの利用者さんで隣の席同士でお話ししたり、職員に「〇〇さんはいつも来られ

る方なんですか？」と質問するなど少しずつ確実に距離が縮まっております。

建物への収容人数が大幅に増えて、圧迫感はなく「色々な人と会話が出来て楽しい」、「同性の利用者さんが増えて過ごしやすくなつた」といった前向きな感想が続出しております！

これからも利用者さんに愛されるような、素敵な新事業所にしていきますので沢山の応援よろしくお願ひします。



グループホーム賀陽

賀陽★山ノ内★光

二十五周年祭を行いました！

グループホーム賀陽の

グループホーム賀陽は二〇二四年で開設二十五周年を迎えました。毎年グループホーム賀陽で開催していた周年祭ですが、今年度は二十五周年という節目の年でもあり、グループホーム賀陽・山ノ内・光の三つのグループホーム合同でお祝いをしました。

現在入居中の方はもちろん、OB・OGの皆さんや、各グループホームの大家さん、これまで関わってきてくださった職員の方々をお招きし、今年は十八名の参加となりました。

クイズコーナーでは、グループホームにまつわる問題を中心に出題しました。どのチームも和気あいあいと相談しながら参加してくださり、皆さんの真剣な姿が印象的です。

その後はみんなでお菓子を食べながら、スライドショーを見て今までのことを振り返り「〇〇に行つたのが楽しかったなあ」という声が聴こえてくるなど、終始なごやかな空気が流れていきました。



トップページ

※この画面はパソコンの場合です

各事業所のアップする記事はお知らせから見る事ができます。

この度11月1日より法人のWEBサイトをリニューアルしました！

法人の魅力をより分かりやすくお伝えできるサイトになったかと思います。

こちらのQRコードを読み込んでぜひご覧ください！



お知らせ

法人・事業所

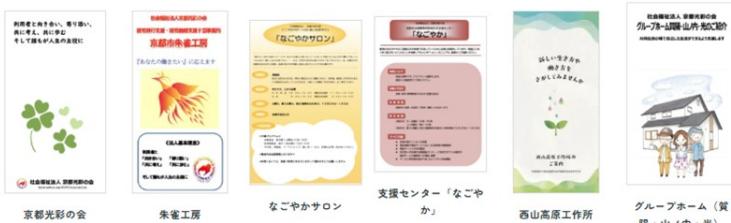
資料

- 2024年11月16日 なごやかサロン
[12月] なごやかサロンカレンダー
- 2024年11月16日 京都光彩の会
マンスリー朱雀2024年10月号更新しました!!
- 2024年10月28日 京都光彩の会
令和6年度第3回全体研修(防災研修)を実施致しました
- 2024年10月28日 朱雀工房
マンスリー朱雀2024年9月号アップしました
- 2024年8月23日 京都光彩の会
令和6年度第2回全体研修(障害者虐待について)実施

- 2024年11月16日 なごやかサロンカレンダー
[12月] なごやかサロンカレンダー
- 2024年11月16日 なごやかサロンカレンダー
[11月] なごやかサロンカレンダー
- 2024年11月11日 マンスリー朱雀
マンスリー朱雀2024年10月号更新!!
- 2024年10月24日 光彩だより
2009年秋号
- 2024年10月24日 光彩だより
2011年秋号

法人各事業所のパンフレットが見られるようになりました。

法人・事業所パンフレット



拡大

お知らせ ▾ 事業所 ▾ **資料** 商品のご案内

資料ページ

事業所パンフレット 6 docs Last Updated: 2024年11月1日	光彩だより 25 docs Last Updated: 2024年11月2日	なごやかサロンカレンダー 3 docs Last Updated: 2024年11月1日	びあHAPPINESS通信 11 docs Last Updated: 2024年11月1日
マンスリー朱雀 6 docs Last Updated: 2024年11月1日	第三者評価結果 2 docs Last Updated: 2024年11月1日	決算書・現況報告書 2 docs Last Updated: 2024年11月1日	定款 1 doc Last Updated: 2024年11月1日
役員名簿 1 doc Last Updated: 2024年11月1日	かれん工房 20 docs Last Updated: 2024年11月1日		

これまで発行してきた各事業所の記事の過去分もここから見ることができるようになりました。



後援会のお礼

京都光彩の会では、『精神障がいのある人たちが、ふつうの市民として、地域で暮らし、働き、社会に参加していくことを支援する』ことを目的に、各事業の運営や計画実施を行っていきたいと思います。

趣旨に賛同いただき、後援会に加入いただいた皆様、誠にありがとうございます。皆様のお気持ちを受けて職員一同、今年度も事業運営に邁進して参りたいと思います。

また今後も新規に法人の活動にご賛同いただき、ご支援いただける方々のご加入も随時承っておりますので、なにとぞご協力のほどよろしくお願いいたします。



こちらのQRコードを読み込むと、詳細がご覧いただけます。

利用者大募集!!

京都市朱雀工房では、上記の利用者様を募集しています。お気軽にご相談ください。

広報委員会 委員

田中 稔一（支援センター「なごやか」）
植田 真由（支援センター「なごやか」）
高橋 恒明（京都市朱雀工房）
兵井 貴人（西山高原工作所）
佐々木 瞳（グループホーム賀陽・山ノ内・光）
松岡 莜以（グループホーム賀陽・山ノ内・光）

光彩がどうございました。今年の夏は本当に暑かったです。昨年も暑かったのですが、今年はそれを上回るほどで十一月頃まで夏日が続きました。そうなると衣替えが難しいですね(泣き)最近はすこり寒くなりましたので気温の寒暖差で身体が辛いです。最近、加湿付空気清浄機を買いました。私はこの時期になると喉が痛くなったり咳をしたりするのですが、空気清浄と加湿を同時に出来る代物で使い始めて喉の乾燥が全く無くなりました。おススメですの是非使ってみて下さい。

泉でナトリウム質の湯なので、お布団に入る時まで身体がボカボカしていました。その日の夜は快眠して疲れが一瞬でふっとびました（笑）さらに、冬の日本海と言えば蟹！夕食は蟹のフルコースでこの世にこんな美味しい物があるのかと舌が反応していました。こ、これは食べる時は一年に一回くらいにしておいた方がいいですね…。車無しでも楽しめるので皆さん参考にしてみて下さいね。

利用者と向き合い、寄り添い、共に考え、共に歩む そして誰もが人生の主役に



社会福祉法人 京都光彩の会

Social welfare corp KYOTO kosainokai.Inc

〒604-8845 京都市中京区壬生東高田町1番地の20 COCO・てらす 東館4F

TEL : 075-323-3201 FAX : 075-323-3220
URL : <http://kyoto-kosainokai.jp>



社会福祉法人京都光彩の会 光彩だより
発行:京都光彩の会 広報委員会
発行責任者:中條 了
印刷:西山高原工作所